



## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月27日

上場会社名 株式会社M&A総合研究所 上場取引所 東  
 コード番号 9552 URL <https://masouken.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐上 峻作  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荻野 光 (TEL) 03-6665-7590  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第1四半期の業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	2,125	—	1,398	—	1,397	—	958	—
2022年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	49.98	44.95
2022年9月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は2022年9月期第1四半期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため、2022年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	5,025	3,893	77.4
2022年9月期	4,228	2,929	69.3

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 3,892百万円 2022年9月期 2,928百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	71.3	3,150	49.7	3,147	51.1	2,108	58.9	109.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期1Q	19,188,400株	2022年9月期	19,153,900株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	20株	2022年9月期	1株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期1Q	19,185,317株	2022年9月期1Q	18,480,000株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による規制が徐々に緩和され、社会経済活動も緩やかに持ち直しが見られましたが、米国の金利政策や急激な円安、各種物価の上昇、ロシアによるウクライナ侵攻による資源価格高騰などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の事業ドメインである日本国内の中小企業によるM&A市場は、経営者の高齢化及び後継者不在企業の増加という実態と、M&Aによる事業承継を推進する行政の政策により拡大を続けております。当社は1社でも多くの企業の事業承継を支援すべく、AIマッチングアルゴリズムの精度向上、業務のDX推進という2軸で効率的なM&Aの実現に取り組んでおります。M&Aアドバイザーの採用も順調に進んでおります。

このような事業環境下において、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら着実に案件を進捗させ、成約件数33件と堅調に推移しております。

また、今後の業績拡大を図るため引き続き積極的な採用を進めており、当事業年度においてM&Aアドバイザーを16名増員しました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,125,041千円、営業利益は1,398,355千円、経常利益は1,397,650千円、四半期純利益は958,840千円となりました。

なお、当事業年度より、当社の報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ561,240千円増加し、4,595,568千円となりました。これは主に、現金及び預金が494,636千円増加、売掛金が67,437千円増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ235,829千円増加し、430,164千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得等により38,902千円増加、差入保証金の増加により投資その他の資産が197,459千円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ155,282千円減少し、1,050,188千円となりました。これは主に、未払法人税等が256,440千円減少、未払消費税等が50,325千円減少、その他に含まれる未払費用が150,750千円増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べ10,750千円減少し、82,539千円となりました。これは主に、長期借入金10,485千円減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ963,103千円増加し、3,893,004千円となりました。これは主に、四半期純利益を958,840千円計上したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2023年9月期の業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微であると予想しております。引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

また、2023年1月13日付で開示しております「持株会社体制への移行に伴う会社分割（新設分割）による子会社設立並びに商号変更及び定款変更（商号・事業目的の変更）に関するお知らせ」及び「子会社設立に関するお知らせ」にて公表の通り、当社は2023年9月期第2四半期より連結決算への移行を予定しております。

連結決算開始に伴う連結業績予想は、2022年10月28日に公表いたしました単体での2023年9月期業績予想と同額となる予定です。なお、今後公表すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,981,320	4,475,956
売掛金	9,917	77,355
その他	43,090	42,257
流動資産合計	4,034,328	4,595,568
固定資産		
有形固定資産	27,828	66,731
無形固定資産	5,550	5,017
投資その他の資産	160,956	358,415
固定資産合計	194,334	430,164
資産合計	4,228,663	5,025,733
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	41,940	41,940
未払法人税等	718,584	462,143
未払消費税等	226,574	176,249
その他	218,372	369,856
流動負債合計	1,205,471	1,050,188
固定負債		
長期借入金	90,355	79,870
リース債務	2,935	2,669
固定負債合計	93,290	82,539
負債合計	1,298,762	1,132,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	617,857	620,048
資本剰余金	617,847	620,038
利益剰余金	1,693,271	2,652,111
自己株式	-	△118
株主資本合計	2,928,977	3,892,080
新株予約権	924	924
純資産合計	2,929,901	3,893,004
負債純資産合計	4,228,663	5,025,733

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,125,041
売上原価	336,201
売上総利益	1,788,839
販売費及び一般管理費	390,484
営業利益	1,398,355
営業外収益	
受取利息	0
雑収入	476
営業外収益合計	476
営業外費用	
支払利息	71
事務所移転費用	1,110
営業外費用合計	1,181
経常利益	1,397,650
税引前四半期純利益	1,397,650
法人税等	438,810
四半期純利益	958,840

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

当社は「M&A仲介事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社の報告セグメントは「M&A仲介事業」及び「その他」の2区分としておりましたが、当第1四半期会計期間より「M&A仲介事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、その他の事業として行っていたWEBマーケティング支援事業が前事業年度において終了したことにより、「M&A仲介事業」の単一セグメントとして開示することが、当社の経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により、当社は「M&A仲介事業」の単一セグメントとなることから、第1四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。